

授業科目名 <英訳>		医学基礎 II Basic Medicine II			担当者所属・ 職名・氏名		医学研究科 教授 川上 浩司				
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 後期	曜時限	木2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語及び英語
[授業の概要・目的]											
<p>担当教員 河野 憲二 (京都大学名誉教授) 神経・感覚・運動 上嶋 健治 (京大病院臨床研究総合センターEBM推進部特定教授) 循環</p> <p>コースの概要 生活習慣病などの疾病を学ぶために必要な医学的基礎知識として、人体の構造や神経系などの器官・器官系の生理機能と調節機構などについて、講義を行う。学習到達目標 (このコース終了時までに習得が期待できること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・循環系について理解する ・神経系の構成と機能について理解する ・感覚機能について理解する ・運動機能について理解する <p>教育・学習方法</p> <p>講義形式</p>											
[到達目標]											
医療系学部等での該当する教育を受けていない学生向けに開講している科目である。社会健康医学系専攻における多様な研究活動を行っていくための基盤的な学びを得る。											
[授業計画と内容]											
第1回 10月 1日循環器総論 ポンプとしての構造と機能を知る 第2回 10月 8日循環器各論1 構造的異常を知る：弁膜症・先天性心疾患の理解のために 第3回 10月 15日循環器各論2 構造的異常を知る：虚血性心疾患・血管疾患の理解のために 第4回 10月 22日循環器各論3 機能的異常を知る：高血圧・不整脈の理解のために 第5回 10月 29日神経細胞と情報伝達 第6回 11月 5日神経系の研究手法 第7回 11月 12日脊髄と脳幹の構造と機能 第8回 11月 19日大脳基底核と小脳の構造と機能 第9回 11月 26日大脳皮質による運動制御 第10回 12月 3日睡眠・覚醒と体内環境調節 第11回 12月 10日感覚系(1) 味覚・嗅覚・前庭覚・聴覚・体性感覚 第12回 12月 17日 感覚系(2) 視覚 第13回 12月 24日「レポート課題」についての解説 第14回 1月 7日情動と記憶、シナプス可塑性 第15回 1月 14日大脳連合野と高次機能											
----- 医学基礎 II(2)へ続く ↓↓↓											

医学基礎 II(2)

[履修要件]

特になし

[成績評価の方法・観点及び達成度]

平常点30%とレポート70%

[教科書]

教科書は特に指定しない。

参考書

佐藤昭夫、佐伯由香編. 人体の構造と機能. 医歯薬出版,2006.
テイポドー、パットン(コメディカルサポート研究会訳). カラーで学ぶ解剖生理学. 医学書院, 2002.
A.シェフラー、S.シュミット(三木明德、井上貴央訳). からだの構造と機能. 西村書店,2002.
クロスマン、ネアリー(野村巖、水野昇訳)神経解剖カラーテキスト 第2版. 医学書院,2008
生理学テキスト 大地 陸男(著) 文光堂, 2013
標準生理学 福田 康一郎 (監修) 医学書院, 2014
Eric Kandel, James Schwartz 他
Principles of Neural Science,
McGraw-Hill Professional; 5版, 2012
(日本語版) 金澤一郎, 宮下保司 (監修),
カンデル神経科学、メディカルサイエンスインターナショナル、2014

泰羅 雅登、中村 克樹(監修, 翻訳)
カールソン神経科学テキスト 脳と行動、丸善出版、2013

[参考書等]

(参考書)

[授業外学習(予習・復習)等]

適宜予習復習を求める。

(その他(オフィスアワー等))

人間健康科学系専攻学生の受講可否：可(教室の収容人数による)

※オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。